

「日本語教育の参照枠」の活用及び普及に向けた検討項目（案）

(1) 手引きに含むべき項目について

「日本語教育の参照枠」活用のための手引き
構成試案

1. 理念等の解説

- 「日本語教育の参照枠」とは
 - ・参照枠の主な対象
 - ・言語教育観の3つの柱
 - ・日本語能力観
 - ・日本語のレベル尺度
 - ・コミュニケーション言語活動とコミュニケーション言語能力
 - ・参照枠の活用により期待される効果
(学習者, 日本語教師, 教育機関, 行政機関, 試験機関)
- 言語教育（日本語教育以外）における Can do の活用について
- Can do で示す能力の範囲について

2. 教育機関のプログラムへの取り入れ方

- Can do をベースにしたカリキュラム編成の方法について（総論）
 - ・教室活動の実践事例（1）留学
 - ・教室活動の実践事例（2）就労
 - ・教室活動の実践事例（3）生活

3. 多様な評価の方法

- ・パフォーマンス評価：ルーブリックの作成方法
- ・ポートフォリオによる評価

4. その他

- ・Q & A
- ・用語の解説：代替的評価, 母語話者, C E F R 増補版など

(2) 学習者のための支援ツールについて

- ・「日本語教育の参照枠」Can do の14言語翻訳
- ・自己評価のための日本語能力判定簡易アプリ等

(3) その他の効果的な広報・活用のための方法について

- ・「日本語教育の参照枠」を分かりやすく紹介するリーフレット
- ・「日本語教育の参照枠」関連サイト